

第5期区民会議中間報告集

第5期多摩区区民会議が発足してから、現在までの状況を報告します。

第3回全体会が開催されました

第1回及び第2回の区民会議(全体会)で検討された地域課題を踏まえて、第5期多摩区区民会議では、2つの専門部会を設置し動き出しました。

平成27年3月24日(火)に開催した第3回の全体会では、各専門部会の進捗状況が報告され、今後の進め方について審議されました。(各部会の進捗状況については、2ページ以降をご覧ください。)

<第3回全体会の様子>



専門部会紹介

第5期多摩区区民会議では、多摩区の地域課題を踏まえて、「人・まち・わづくり部会」と「多摩区の魅力いきいき部会」の2つの専門部会を設置しました。ここでは、2つの専門部会を紹介します。

人・まち・わづくり部会

人・まち・わづくり部会では、地域コミュニティづくりや、町会・商店会・市民活動団体・自主防災組織・多摩区3大学(専修・明治・日本女子)などの連携等について検討し、地域における顔の見えるつながりづくりについて考えます。



多摩区の魅力いきいき部会

多摩区の魅力いきいき部会では、生田緑地、多摩川、二ヶ領用水などの緑の資源、伝統文化などの文化資源、子育てしやすい環境などを活かした、魅力的で住みやすい多摩区について考えます。



審議テーマ

「防災活動を通じたコミュニティづくり」に 決めました！

人・まち・わづくり部会では、多摩区の地域課題を踏まえて検討した結果、審議テーマが「防災活動を通じたコミュニティづくり」となりました。

■ 地域コミュニティづくりについて

- ・多摩区にある3大学の学生たちも巻き込んで、地域コミュニティについて考えたい。
- ・コミュニティに関する取組は、なかなか具体的な成果が見えにくい。
- ・町内会が開催するイベントや活動に、たくさんの住民が参加するのが地域コミュニティだと思う。
- ・地域で助け合いの関係があるのが、地域コミュニティだと思う。
- ・住民同士の顔が見える関係が、地域コミュニティだと思う。

■ 防災活動について

- ・防災活動に積極的に取り組んでいる町会などを参考に、その方法を多摩区全体に広げる取組をしたらどうか。
- ・土砂災害が懸念されている地域で、対策がまだ十分に行われていないところに赴き、一緒に防災対策を考えたらどうか。

■ 防災と地域コミュニティには、密接な関係がある

- ・災害時に被害を少なくするためには、普段からの地域コミュニティの在り方が重要であると言われている。しかし、地域で実施している防災活動は、参加者の数が少ないことが課題になっているところが多い。このため、防災と地域コミュニティづくりを関連させて検討する必要がある。

審議テーマ

「防災活動を通じたコミュニティづくり」

- 部会の審議の方向性としては、「防災活動を通じたコミュニティづくり」とする。具体的には、防災活動が活発な地域の事例を取りまとめて、区内他地域に広めるための仕掛けを検討する。
- まずは、区内で防災活動を通じたコミュニティ形成が図られている地域（町内会・自治会）へヒアリングを行う。

<活動報告>

かりがね台自治会会長さんのお話を伺いました

○ 開催趣旨

人・まち・わづくり部会では、まずは防災活動を通じたコミュニティ形成が図られている地域のお話を聞こうということから、3月18日にかりがね台自治会の本多会長をお招きして、防災活動とコミュニティづくりについてのお話を伺いました。



○ かりがね台自治会の取組 - 災害時要援護者避難支援制度の取組 -

かりがね台自治会は、西生田5丁目にあり、約650世帯で構成される自治会です。かりがね台自治会では、地域を28班に分割し、各班内で支援者を選定しています。支援者は、班内の要援護者を選定し、複数名で対応するようにしています。また、制度の登録者情報を本人の同意を得て総会資料に掲載することで、支援者以外の近隣住民の方にも協力依頼をしています。

○ 平常時は、「顔を知る・心を知る」取組を実施

「安全な避難を行うためには、普段から顔見知りになることが大事である」と強く主張する本多会長。かりがね台自治会では、普段から積極的に住民同士顔を見合わせる活動が行われています。



熱く語る
本多会長

■ 要援護者への家庭訪問 ■

役員、民生委員等で、年2回程度定期訪問を実施し状況確認を行っています。これにより、要援護者に災害時に助けに来る人の顔を知ってもらっています。



■ 夜警 ■

年末には、夜警として拍子木を持って地域を見守るそうです。これにより地域に安心感がもたらされるだけでなく、住民から「お疲れ様です!」と言われ、交流が生まれるそうです。

■ 地元のおみこしで地域内を練り歩き ■

お祭りでおみこしを担いで地域を練り歩くそうです。おみこしで練り歩くと誰もが家から外へ出てきて、住民同士が顔を合せることができるそうです。

現在、審議テーマを絞り込み中！

これまで、魅力的で住みやすいまちづくりを目指して、「多摩区の魅力について」「若者世代の流入・定住」「自転車のモラルマナーの向上」を中心に検討しました。今後は、さらにテーマを絞り込み、審議テーマを決めます。

■ 多摩区の魅力について

<多摩区の魅力掘り起しアピール>

- ・区には魅力がたくさんあるが、うまくアピールできていないことが課題
- ・区の魅力を明確にする必要がある。
- ・区の魅力を掘り起こし区外に発信する
- ・多摩川音頭や菅の獅子舞を多くの人に知ってもらいたい。このためには、子どもが多摩区の伝統文化に接する機会をつくることが重要である。

<多摩区の玄関口の景観づくり>

- ・今の区内の駅前が、雑然としているように思われるのでなんとかしたい。登戸駅や向ヶ丘遊園駅は、多摩区の玄関なので、きれいな景観にするべきではないか。

■ 若者世代の流入・定住

- ・多摩区は将来市内で最初に人口のピークを迎えると推計されているため、若い世代が定住するしくみを作る必要がある。その一つの方法として、子育て世代の応援が必要だと思う。

■ 自転車のモラルマナーの向上

- ・交通に関するモラル・マナーがあまり良くない。特に自転車については、放置自転車や、携帯・スマートフォンを見ながら運転する人が見られるなど、モラル・マナーはあまり良くない。

■ 多摩区の魅力について

<多摩区の魅力掘り起しアピール>

- ・これまでに行われてきた多摩区の魅力創出や観光に関する取組について把握し、第5期区民会議として、どのようなことができそうかを考える。

<多摩区の玄関口の景観づくり>

- ・例えば登戸土地区画整理事業そのものに関しては審議テーマとして取り上げにくいですが、景観に配慮した事業用地の仮囲いの暫定利活用のあり方などについては、検討の余地があると考えます。

■ 自転車のモラルマナーの向上

- ・道路の構造や交通に関する法律に関わる部分については、審議テーマとして設定しにくい。

■ 若者世代の流入・定住

- ・若い世代の定住を促す要素として、「住み続けたい」と思わせるものは何かということに着目する。単独の審議テーマとしては取り上げにくい。

<活動報告>

区民会議では、区の現状を把握しながら、地域課題について審議しています。多摩区の魅力いきいき部会では、審議課題の絞り込みにあたり、「登戸土地区画整理事業」と「多摩区の観光などの取組」について勉強会を実施しました。

登戸土地区画整理事業勉強会を開催しました

○ 勉強会の開催趣旨

多摩区の魅力を向上させるためには、多摩区の玄関口である登戸駅や向ヶ丘遊園駅の駅前の景観を良くすることも一つの方法ではないかとの課題提起がなされました。

そこで、区民会議として何ができるかを検討する上で、登戸土地区画整理事業についての見識が必要と考え、平成27年2月13日(金)に登戸土地区画整理事業勉強会を開催し、登戸区画整理事務所職員から説明を受けました。

○ 区画整理事業の進捗状況と駅前整備について

勉強会では、登戸区画整理事務所担当者から、現在の進捗状況と今後のスケジュールについてお話をいただきました。(ポイントのみご報告します。)

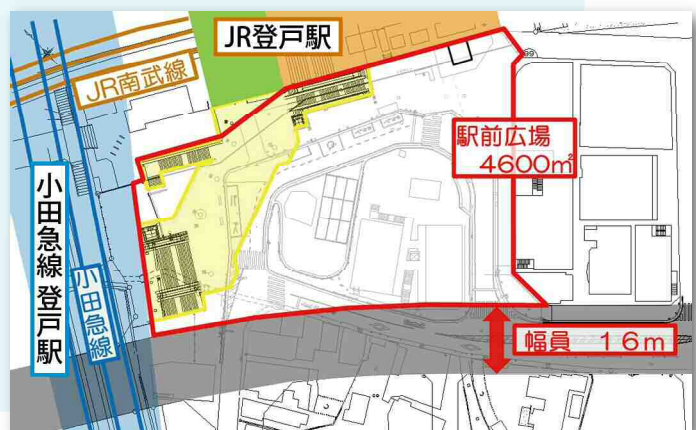
■ 土地区画整理事業全体について

- 事業完了については、平成37年度末を予定している。
- 土地区画整理事業は年に約3%ずつ進んでおり、現在は約50%完了している。今後は主要幹線道路や駅前広場の整備に力を入れていく。



■ 駅前広場について

- 登戸及び向ヶ丘遊園駅前広場については、平成27年度に駅前交通の実態を把握しながら、設計に向けた条件整理を行う。
- 平成28年度以降に市民のみなさんの意見を聞きながら駅前の設計を行う。



多摩区の観光などの取組についての勉強会を開催しました

○ 勉強会の開催趣旨

多摩区の魅力の掘り起しや、掘り起こした魅力をどうアピールするかを検討するためには、現在行われている多摩区の観光などに関する取組を把握する必要があることから、平成27年3月16日(月)に勉強会を開催し、多摩区役所地域振興課職員から説明を受けました。

○ 多摩区の観光の取組について

現在、多摩区の観光などの取組は、次の4つの視点に基づき行われています。

- (1) 生田緑地をはじめとする豊富な地域資源を活用した地域活性化の推進
- (2) 多様な地域主体との協働による、区民が主体となった取組の推進
- (3) 地域人材の活用と、市民のアイデアを生かした事業展開
- (4) 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の賑わい継承事業

具体的な取組としては、次のようなものがあります。

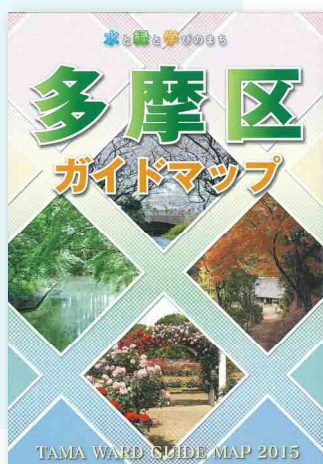
■ リアル謎時アドベンチャー

- 専修大学との連携企画。大学生が地域取材して、特徴的なスポットなどをクイズにした。参加者は実際にそのスポットやお店を巡ってクイズを解いていく。



■ 観光ガイドマップ

- 川崎市内各区で区のガイドマップを作成しているが、多摩区では特に観光情報を多く盛り込み、多摩区観光協会が発行している。



■ 川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム周遊マップ

- 藤子・F・不二雄ミュージアムだけでなく、その周辺も廻ってもらうため、おすすめスポットやモニュメントを紹介した周遊マップを作成している。



区民会議交流会報告

<報告>

川崎市7区の区民会議委員が一堂に会する「区民会議交流会」が、平成27年2月9日(月)にエポックなかはらで開催されました。

市長講演に続いて、「幅広い世代が区民会議に関わってもらうには」をテーマに、グループに分かれて委員同士の意見交換が行われ、市長も各グループを回って委員のアイデア等に耳を傾けました。



<川崎市内他区の区民会議審議状況>

区民会議は、多摩区だけでなく各区で設置されています。多摩区と同じように区民自ら地域課題を発見し、その解決策について検討しています。今回は、他の区の専門部会や審議テーマについて紹介します。

川崎区

地域を育むまちづくり部会
だれもがいきいき暮らす部会

幸区

自転車事故ゼロ部会
地域力で暮らしやすいまち部会

中原区

地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに

高津区

地域を活性化する部会
防災・防犯の意識を高める部会
交通安全対策部会

宮前区

誰もがくらしやすいまちをめざす部会
みやまえ魅力探訪部会

麻生区

若い世代が住みやすいまちづくり部会
市民活動・地域活動の活性化部会

区民会議フォーラムのお知らせ

平成27年11月3日(火・祝)に区民会議フォーラムを開催します。区民会議フォーラムでは、審議内容をご報告するとともに、みなさまからご意見をいただきます。



<ご意見・ご感想など お寄せください>

区民会議の審議内容等について、ご意見・ご感想などございましたら、FAXまたはe-mailにてお寄せください。いただいたご意見等は今後の審議等の参考とさせていただきます。

多摩区役所まちづくり推進部企画課
TEL : 044-935-3147
FAX : 044-935-3391
e-mail : 71kikaku@city.kawasaki.jp